

秋田	五九六	二〇六	三、五六一、一七一
岩手	九六	九五	一、一二〇、二八五
山形	一一〇	五七	六五二、五一三
計	九〇六	三九四	五六九八、四二三

○京都市水利工事成蹟 去月四日京都府ニ於テ同市水利事務所開業式ヲ舉行シタルトキ
 技術長長谷川廷君ノ報告セシ工事成蹟書ヲ官報ニ掲載アリタルヲ以テ左ニ轉載ス

土工ノ部

- 一 第四墜道北口堰門 一箇所 高サ九呎二寸(厚サ五呎幅三尺)
- 一 同北口ヨリ開展水路 延長五十二間 水路幅平均二十三尺 石垣(高十四尺延長百四間)
- 一 同所塵芥除鐵柵 二箇所 内高七尺長十二尺一箇所 高九尺長廿二尺一箇所
- 一 同所鐵管口堰門 一箇所 高十一尺 厚一尺六寸 延長四十六尺
- 一 鐵管總延長但シ内徑三尺 二千八百十九尺五分 鍊鐵 千五百一十一尺六寸
- 内 鑄鐵 千三百七尺五分 一箇所 高六尺 延長七百二十尺
- 一 石垣 鐵管脇インクライン土砂止用 一箇所 各高六尺五寸 幅三尺五寸 厚一呎
- 一 スルイスヅアルブ 四箇 百七十二箇所
- 一 鐵管土臺 百七十二箇所
- 内 檜臺 長十二尺 八寸押角 百二十本 煉瓦臺 五十箇 鑄鐵臺 二箇

一本橋

内

三箇所

三條街道ヨリ南禪寺内ニ架設スルモノ

橋臺石垣高九尺幅二十尺

三條街道ヨリインクラインヲ沿ヒ南禪

橋臺石垣高十一尺延長八十尺

寺松林ニ達スルモノ

橋臺煉瓦高十七尺長三十尺厚三尺

インクライン中央架設

二箇所

一

一發電所掘鑿地盤煉瓦壁

上部 長二十三間 幅六間七分 一 下部 長二十一間五尺 幅十尺 一

一水吐隧道 煉瓦三枚卷 一箇所

延長九十五間五分 高七尺 幅六尺

一發電所降口石段

二箇所 長各十二間半 幅二間

一發電所周圍溝石垣

一箇所 長六十四間 幅一尺

一水量取入口

六箇所 内一箇所ハ直徑一尺五寸土管ヲ以テ取入口トス

建物ノ部

一發電所

坪數二百八坪九合二勺三方煉瓦壁一方板張三ツ棟建平家 一棟

一器械倉庫

坪數二十四坪木造内部半側二階 一棟

一鍛冶場

坪數七坪木造平家 一棟

一事務所

坪數六十坪五合木造平家 一棟

一物置小屋

坪數十坪木造平家 一棟

一便所

坪數五合木造 一棟

- 一 表門
- 一 井戸
- 一 周圍木柵 延長二百二十九間
- 一 鐵管脇木柵 延長百五十六間七分
- 一 番所

内

夷川開門番所坪數四坪五合平家 一棟

インクライン 職上番所坪數二坪平家 一棟

機械ノ部

- 一 ベルトン腰懸立水車 各百二十馬力(据付濟) 二臺 一スウイッチゴルド 一箇所
- 一 エジソン式ハナキロワツト發電機(附屬品トモ) 二臺 長サ十八尺五寸高サ十尺電機五臺
- 一 水車榨 六臺 適當ス盤土ニハ幹線用開閉器ヲ

- 一 發電所内架線榨臺 一箇所 一カオンターシヤフト 二臺

長サ各七尺七寸滑車二箇

電導線路ノ部

内

- 一 饋線路 十一番線十九箇捻スト 本柱四十四本支線 二條延長二千六十九間
- 一 枝線路 ラント被覆線ヲ架ス 四本支柱十一本 延長千六百五十五間四尺

ブラワンシャープ六番被覆線

本柱八本 支線一本

二條延長四百三十五間四尺

八番同

本柱十九本 支線四本

二條延長九百八十間

一番同

本柱四本 支線一本

二條延長二百四十間

インクライン線

一番線ヲ架ス

本柱十一本 支線一本

二條延長六百四十二間四尺

電動機ノ部

一スプレーク式 五馬力電動機

一臺 上京區富小路夷川下ル京都時計製造會社

一エジソン式 三十馬力

一臺 鴨東聖護院町藤井紡績所ニ於テ紡績機械運轉

一スプレーク式 五十馬力

一臺 インクライン舟引上ケ下ケドラム運轉ノ用ニ供ス

○鐵道敷設法

帝國議會ノ協賛ヲ經テ御裁可アリシ同法ハ去月二十日ヲ以テ公布セラレ

タリ左ニ之ヲ掲ク

第一章 總則

第一條 政府ハ帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲漸次豫定ノ線路ヲ調査シ及敷設ス

第二條 豫定鐵道線路ハ左ノ如シ

中央線

一 神奈川縣下八王子若ハ静岡縣下御殿場ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ伊那郡

若ハ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道

一 長野縣下長野若ハ篠ノ井ヨリ松本ヲ經テ前項ノ線路ニ接続スル鐵道